

将来のあるべき姿（みどりの将来像）

将来の、檀原市の緑のあるべき姿や基本的な考え方、将来ビジョン等を、緑の将来像として、“基本理念”“テーマ”“将来構造図”を示しました。

計画の基本理念

「檀原市 緑の基本計画」では、自然的・歴史的資源の保護、保全とともに、市民生活に潤いを与える緑の充実を図り、緑が発揮する様々な機能が地域固有の資源や地域に暮らす人々により活かされるよう、あらゆる分野にまたがる多様な展開を図り、

市民・事業者等の参加と協力、市民と行政のパートナーシップによる計画の推進に努めることを基本理念とします。

計画のテーマ

檀原市のまちづくりの共通のテーマとして、“歴史”、“暮らし”、“交流”といったキーワードがあります。

つまり、いわゆる大和三山や藤原宮跡に代表される史跡など、まちの“歴史”を象徴する様々な資源は、都市の景観や田園風景にとけ込んだ優れた景観資源であります。また、人々の“暮らし”の中に緑を創出することは都市環境に潤いや安らぎを与え、特に人々が“交流”する市街地における緑の存在は、まちの“顔”となる都市空間の形成に寄与することとなります。さらに、河川等の水辺環境は、緑の保全と創出に密接に関わり合うとともに、人々が憩い、安らぐレクリエーション空間や動植物の生息環境をつなぐ役割も担います。

以上から、将来の緑のあるべき姿を本計画のテーマとして次のように設定しました。

『歴史と暮らし、人と人が、
水と緑で交わり、つながるまち』

緑の将来構造図

計画の基本理念や計画のテーマを実現するため、本市の将来の緑のあるべき姿を緑の将来構造図として示しました。

